

令和5年
保健事業の動向
(令和6年度版)

朝日町保健センター

目 次

第 1 章 人 口 動 態

1. 町勢概要	1
2. 地区別世帯数及び人口	2
3. 年齢3区分別人口割合の推移	2
4. 人口動態	2
5. 出生の年次推移	3
6. 低出生体重児の年次推移	3
7. 死亡の年次推移	3
8. 乳児死亡の年次推移	3
9. 新生児死亡の年次推移	4
10. 死産の年次推移	4
11. 周産期死亡の年次推移	4
12. 婚姻の年次推移	4
13. 離婚の年次推移	4
14. 死因別死亡者数	5
15. 死因順位の年次推移	5
16. 悪性新生物の部位別死亡数（年次別）	6
17. 心疾患の病類別死亡者数（年次別）	6
18. 脳血管疾患の病類別死亡者数（年次別）	6

第 2 章 母 子 保 健

1. 母子保健活動内容	7
2. 母子保健事業実施状況	12

第 3 章 成 人 保 健

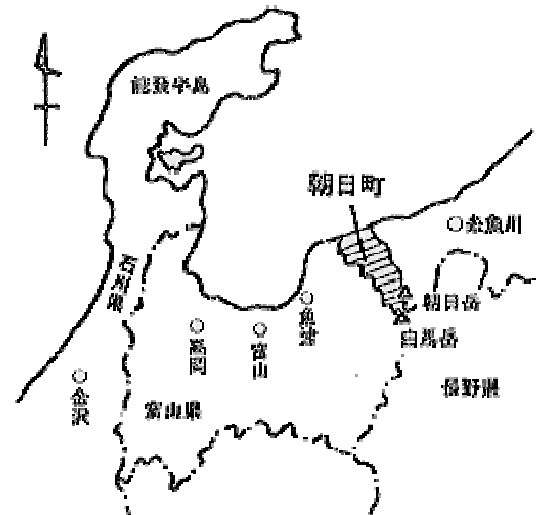
1. 成人保健活動内容	24
2. 健康教育開催状況	28
3. 健康相談開催状況	28
4. 疾患別訪問指導状況	28
5. 健康診査実施状況	28
6. がん検診実施状況	30
7. 健康診査受診状況	39

第 4 章	結核・予防接種	
1.	結核検診実施状況	40
2.	予防接種実施状況	41
第 5 章	保健師等活動状況	
1.	保健師活動状況	43
2.	家庭訪問内容	43
3.	保健センター利用状況	44
第 6 章	特定健康診査・特定保健指導	
1.	特定健康診査・特定保健指導実施状況	45

第 1 章 人 口 動 態

1. 町勢概要

1. 人口	10,916 人	(男 5,160 人 女 5,756 人)
2. 世帯数	4,694 世帯	
3. 面積	227.41 km ²	
4. 人口密度	48.0 人	
5. 医療	病院 2	
	一般診療所 4	
	歯科診療所 6	



令和5年4月1日現在（住民基本台帳）

2.地区別世帯数及び人口

地 区	人 口 構 成			人口の増減 (対前年)	世帯数	一世帯当り 平均人員
	計	男	女			
総 数	10,916	5,160	5,756	△ 290	4,645	2.35
境	370	183	187	△ 16	161	2.30
宮 崎	396	192	204	△ 21	172	2.30
笹 川	231	120	111	△ 8	104	2.22
泊1区	931	426	505	△ 39	409	2.28
泊2区	2,340	1,044	1,296	△ 34	1,095	2.14
泊3区	1,623	780	843	△ 38	689	2.36
五箇庄	1,767	853	914	△ 38	700	2.52
南 保	786	370	416	△ 19	342	2.30
山 崎	845	415	430	△ 33	375	2.25
大家庄	1,627	777	850	△ 44	598	2.72

※令和5年4月1日現在(住民基本台帳)

3.年齢3区分別人口割合の推移

朝日町

年 次	年少人口(0～14歳)		生産年齢人口(15～64歳)		高齢人口(65歳以上)	
R1	928	8.3	5,358	47.6	4,960	44.1
R2	896	8.2	5,120	46.7	4,939	45.1
R3	866	8.0	5,051	46.6	4,923	45.4
R4	824	7.8	4,859	46.2	4,832	46.0
R5	783	7.6	4,689	45.7	4,783	46.6

※令和5年10月1日現在(富山県人口移動調査)

富山県

R5	107,546	10.9	551,555	55.8	328,689	33.3
----	---------	------	---------	------	---------	------

※令和5年10月1日現在(富山県人口移動調査)

4.人口動態

令和5年

区 分	朝 日 町		富 山 県		全 国	
	実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)
出 生	39	3.9	5,512	5.6	727,288	6.0
死 亡	204	20.2	15,095	15.3	1,576,016	13.0
自然増加	△ 165	△ 16.3	△ 9,583	△ 9.7	△ 848,728	△ 7.0
乳児死亡	－	－	13	2.4	1,326	1.8
新生児死亡	－	－	7	1.3	600	0.8
死 産	1	25.6	92	16.4	15,534	20.9
周産期死亡	－	－	18	3.3	2,404	3.3
婚 姻	19	1.9	3,276	3.3	474,741	3.9
離 婚	8	0.79	1,126	1.14	183,814	1.52

(「人口動態統計」厚生労働省・富山県)

5.出生の年次推移

年次	朝 日 町		富 山 県		全 国	
	実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)
R1	38	3.4	6,604	6.4	865,239	7.0
R2	37	3.4	6,256	6.1	840,835	6.8
R3	33	3.1	6,076	6.0	811,622	6.6
R4	24	2.3	6,022	6.0	770,759	6.3
R5	39	3.9	5,512	5.6	727,288	6.0

6.低出生体重児の年次推移

年次	出生数	低出生体重児		出生体重の区分			
		数	率(出生百対)	1.0kg未満	1.0～1.4kg	1.5～1.9kg	2.0～2.4kg
R1	38	7	18.4	－	－	1	6
R2	37	3	8.1	－	－	－	3
R3	33	4	12.1	－	－	－	4
R4	24	2	8.3	－	2	－	－
R5	39	5	12.8	－	1	－	4

7.死亡の年次推移

年次	朝 日 町		富 山 県		全 国	
	実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)
R1	208	18.5	13,207	12.9	1,381,093	11.2
R2	204	18.6	12,981	12.8	1,372,755	11.1
R3	195	18.2	13,650	13.5	1,439,856	11.7
R4	230	22.2	15,052	15.1	1,569,050	12.9
R5	204	20.2	15,095	15.3	1,576,016	13.0

8.乳児死亡の年次推移

年次	朝 日 町		富 山 県		全 国	
	実数	率	実数	率	実数	率
R1	－	－	10	1.2	1,654	1.9
R2	－	－	11	1.8	1,512	1.8
R3	－	－	13	2.1	1,399	1.7
R4	－	－	9	1.5	1,356	1.8
R5	－	－	13	2.4	1,326	1.8

9.新生児死亡の年次推移

年次	朝 日 町		富 山 県		全 国	
	実数	率	実数	率	実数	率
R1	-	-	5	0.8	755	0.9
R2	-	-	5	0.8	704	0.8
R3	-	-	7	1.2	658	0.8
R4	-	-	6	1.0	609	0.8
R5	-	-	7	1.3	600	0.8

10.死産の年次推移

年次	朝 日 町		富 山 県		全 国	
	実数	率	実数	率	実数	率
R1	-	-	125	18.6	19,454	22.0
R2	2	51.3	116	18.2	17,278	20.1
R3	1	29.4	118	19.1	16,277	19.7
R4	2	76.9	106	17.3	15,179	19.3
R5	1	25.6	92	16.4	15,534	20.9

11.周産期死亡の年次推移

年次	朝 日 町		富 山 県		全 国	
	実数	率	実数	率	実数	率
R1	-	-	26	3.9	2,955	3.4
R2	-	-	22	3.5	2,664	2.1
R3	-	-	27	4.4	2,741	3.4
R4	-	-	24	4.0	2,527	3.3
R5	-	-	18	3.3	2,404	3.3

12.婚姻の年次推移

年次	朝 日 町		富 山 県		全 国	
	実数	率	実数	率	実数	率
R1	28	2.5	4,226	4.1	599,007	4.8
R2	21	1.9	3,720	3.7	525,507	4.3
R3	16	1.5	3,548	3.5	501,138	4.1
R4	18	1.7	3,496	3.5	504,930	4.1
R5	19	1.9	3,276	3.3	474,741	3.9

13.離婚の年次推移

年次	朝 日 町		富 山 県		全 国	
	実数	率	実数	率	実数	率
R1	15	1.33	1,327	1.29	208,496	1.69
R2	8	0.73	1,239	1.22	193,253	1.57
R3	6	0.56	1,164	1.15	184,384	1.50
R4	7	0.67	1,074	1.08	179,099	1.47
R5	8	0.79	1,126	1.14	183,814	1.52

14.死因別死亡者数（人口10万対）

死 因	朝 日 町		富 山 県		全 国	
	実数	率	実数	率	実数	率
総数	204	2018.4	15,095	1529.4	1,576,016	1300.4
悪性新生物	57	564.0	3,582	362.9	382,504	315.6
心疾患	30	296.8	1,908	193.3	231,148	190.7
肺炎	10	98.9	693	70.2	75,753	62.5
脳血管疾患	12	118.7	1,013	102.6	104,533	86.3
老衰	32	316.6	2,217	224.6	189,919	156.7
不慮の事故	8	79.2	562	56.9	44,440	36.7
自殺	2	19.8	156	15.8	21,037	17.4
大動脈瘤及び解離	2	19.8	198	20.1	20,033	16.5
腎不全	2	19.8	247	25.0	30,208	24.9
慢性閉塞性肺疾患	3	29.7	144	14.6	16,941	14.0
肝疾患	1	9.9	154	15.6	18,638	15.4
糖尿病	2	19.8	159	16.1	15,448	12.7

15.死因順位の年次推移

年次	順 位	朝 日 町		富 山 県		全 国	
		死 因	率	死 因	率	死 因	率
R1	第 1 位	悪性新生物	400.1	悪性新生物	340.4	悪性新生物	304.2
	2	心 疾 患	355.7	心 疾 患	173.6	心 疾 患	167.9
	3	脳 血 管 疾 患	186.7	老 衰	121.4	老 衰	98.5
R2	第 1 位	悪性新生物	552.9	悪性新生物	552.9	悪性新生物	299.8
	2	心 疾 患	214.0	心 疾 患	214.0	心 疾 患	162.9
	3	老 衰	196.2	老 衰	196.2	老 衰	104.9
R3	第 1 位	悪性新生物	523.3	悪性新生物	356.1	悪性新生物	310.7
	2	心 疾 患	308.4	心 疾 患	184.0	心 疾 患	174.9
	3	老 衰	158.9	老 衰	163.3	老 衰	104.9
R4	第 1 位	悪性新生物	472.0	悪性新生物	372.7	悪性新生物	316.1
	2	心 疾 患	317.9	老 衰	202.5	心 疾 患	190.9
	3	老 衰	211.9	心 疾 患	199.4	老 衰	147.1
R5	第 1 位	悪性新生物	564.0	悪性新生物	362.9	悪性新生物	315.6
	2	老 衰	316.6	老 衰	224.6	心 疾 患	190.7
	3	心 疾 患	296.8	心 疾 患	193.3	老 衰	156.7

16.悪性新生物の部位別死亡数(年次別)

年次	総 数			食道		胃		腸		肝臓		胆		膵臓		肺		乳房		子宮		前立腺		他	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
R1	45	27	18	1	-	2	1	1	3	3	1	1	3	3	4	9	2	-	1	-	1	1	-	6	2
R2	62	33	29	-	-	5	5	3	9	4	-	3	-	2	3	5	3	-	3	-	1	2	-	9	5
R3	56	27	29	1	-	2	3	5	3	1	2	1	2	3	5	7	5	-	2	-	-	3	-	4	7
R4	49	28	21	2	-	2	-	6	3	-	2	4	4	2	3	6	4	-	2	-	-	-	-	6	3
R5	57	33	24	2	-	5	4	6	3	2	1	2	-	-	4	6	3	-	2	-	3	4	-	6	4

17.心疾患の病類別死亡者数(年次別)

年次	総 数			慢性リウマチ性 心 疾 患		急 性 心筋梗塞		その他の 虚血性心疾患		慢性非リウマチ性 心内膜疾患		心筋症		不整脈及 び 伝導障害		心不全		その他の 心疾患	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
R1	40	15	25	-	-	5	6	1	-	1	1	2	-	2	2	4	15	2	1
R2	24	9	15	-	-	2	2	-	2	-	1	-	1	3	2	3	7	1	-
R3	33	17	16	-	-	2	1	2	1	3	1	-	-	4	3	6	10	-	-
R4	33	12	21	-	-	2	3	1	2	-	3	-	-	1	4	8	9	-	-
R5	30	12	18	-	-	3	1	-	2	-	3	-	-	4	2	5	10	-	-

18.脳血管疾患の病類別死亡者数(年次別)

年次	総 数			くも膜下 出 血		脳内出血		脳梗塞		その他の 脳血管疾患	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
R1	21	8	13	1	4	3	2	4	7	-	-
R2	17	3	14	1	-	1	3	1	10	-	1
R3	11	6	5	1	1	1	-	4	4	-	-
R4	14	6	8	-	-	4	5	2	3	-	-
R5	12	8	4	-	-	1	1	7	3	-	-

第 2 章 母 子 保 健

1.母子保健事業内容

事業名	不妊治療費助成事業	不育症治療費助成事業	プレ妊活健診費助成事業	産前・産後サポート事業
				ママカフェ
対象	夫婦の両方又はどちらか一方が、申請日までに朝日町に1年以上居住し、体外受精又は顕微授精以外に妊娠が望めない夫婦（事実婚を含む）	朝日町に1年以上居住し、産婦人科医や生殖医療専門医による不育症治療を受けた夫婦	申請日において夫婦の両方またはいずれか一方が朝日町に居住し、妻の年齢が40歳未満で、婚姻後3年以内の夫婦（事実婚を含む）	妊婦、産婦（産後1年未満） 乳児、家族 ※里帰り出産者を含む
回数	随時	随時	随時	月1回
場所	受付:保健センター	受付:保健センター	受付:保健センター	保健センター
内容	・指定医療機関又は保健医療機関において、不妊治療を受けている夫婦を対象とする ・体外受精又は顕微授精、男性不妊治療に要した費用で、妻が43歳未満の場合、国・県等の助成金や高額療養費を控除した費用、妻が43歳以上の場合、治療に要した保険適用外医療費とする ・助成する額は、対象費用に対して、1回の治療につき、妻が43歳未満の場合全額、43歳以上の場合15万円まで、1年度当たり3回を限度とする	・助成する額は、医療機関における検査及び治療に要した費用の全額で、国・県等の助成金を控除した費用を助成	・実施医療機関で受けたプレ妊活健診において、規定する検査項目費用を助成する ・費用:無料(規定の項目以外の検査を受ける場合は別途費用が発生する) ・助成回数:夫婦1組につき1回までとする	・個別相談 ・利用者同士での自由な交流
スタッフ	保健師 5名	保健師 5名	保健師 5名	保健師 1名 助産師(嘱託) 1名
備考	・平成16年度より実施 ・男性不妊治療については、平成28年度より実施 ・令和4年度より制度改正	・平成28年度より実施	・令和5年10月より実施	・平成30年5月より実施 ・利用料 100円でお茶やお菓子を提供していたが、新型コロナウイルス感染症の流行により、令和2年7月から利用料は無料とし、飲食なしで実施。

産後ケア事業			産後ヘルパー派遣事業
短期入所型	通所型	居宅訪問型	
生後4か月未満の乳児 及び母親 ※里帰り出産者は除く	生後4か月未満の乳児 及び母親 ※里帰り出産者は除く	生後1年以内の乳児 及び母親 ※里帰り出産者は除く	朝日町内に住民票の住所地 を有し、かつ、居住する出産 後6か月以内の母親又はその 配偶者(事実婚を含む。)
2泊3日を限度に、 1人あたり上限2回	1人あたり上限3回	1人あたり上限5回	1人あたり上限5回
あわの産婦人科医院	あわの産婦人科医院	各家庭	各家庭
<u>対象者(詳細)</u> ・家族のサポートが十分に受 けられない状況にある者や、 育児に不安があり専門職のサ ポートが必要である者、母親 自身が体調不良である者など <u>内容</u> ・産後の生活指導 ・授乳指導 ・育児指導 ・相談支援 ・EPDS、赤ちゃんへの気持ち 質問票を用いた、産後の母へ の精神的フォロー など	<u>対象者(詳細)</u> ・家族のサポートが十分に受 けられない状況にある者や、 育児に不安があり専門職のサ ポートが必要である者、母親 自身が体調不良である者など <u>内容</u> ・産後の生活指導 ・授乳指導 ・育児指導 ・相談支援 ・EPDS、赤ちゃんへの気持ち 質問票を用いた、産後の母へ の精神的フォロー など	<u>対象者(詳細)</u> ・家族のサポートが十分に受 けられない状況にある者や、 育児に不安があり専門職のサ ポートが必要である者、母親 自身が体調不良である者など <u>内容</u> ・産後の生活指導 ・授乳指導 ・育児指導 ・相談支援 ・EPDS、赤ちゃんへの気持ち 質問票を用いた、産後の母へ の精神的フォロー など	<u>内容</u> 【家事】調理、衣類の洗濯、居 室等の掃除、整理整頓、生活 必需品の買い物等 【育児補助】授乳、おむつ交 換、沐浴の手伝い等
助産師及び看護師 (あわの産婦人科医院)	助産師及び看護師 (あわの産婦人科医院)		委託事業所 2か所
・令和2年10月より実施 ・利用料 1泊2日 8,500円 2泊3日 15,500円 ＊令和5年度より利用料を減免	・令和2年10月より実施 ・利用料 2,000円/回 ＊令和5年度より利用料を減免	・平成30年度より実施 ・新生児・未熟児・こんにちは 赤ちゃん訪問において、3回 目の訪問が必要な場合に産 後ケア訪問として扱う ・利用料 500円/回	・令和4年度より実施 ・利用料 1,500円/回

教室		訪 問		健 康 相 談	
もうすぐパパママ教室	もぐもぐごっくん教室	家庭訪問	こんにちは 赤ちゃん事業	テレホン育児相談 「子育てママ 応援テレフォン」	障害児を持つ 母親の集い 「たんぼぼの集い」
妊婦及び父親	生後6か月頃～ 離乳食完了期	妊産婦 乳幼児 未熟児	生後4か月未満の 全ての乳児 及び母親	希望者	障害児とその家族
年2回	年4回	随時	1人につき1回 (要観察ケースは随時)	随時	月1回
保健センター	保健センター	各家庭	各家庭	保健センター	保健センター
①受付 ②子育てについての講演 ③先輩パパママ・乳児との交流 ④沐浴・オムツ交換 抱き方の体験 妊婦ジャケット着用による妊婦体験	①受付 ②身体計測(希望者) ③問診 ④離乳食集団指導 ⑤離乳食の試食	対象者(詳細) ・ハイリスク妊産婦 ・乳幼児健診後の経過観察児 ・未熟児 ・新生児・産婦の希望者(里帰り出産者を含む) 内容 ①児の発育状況の確認 ②産婦の身体状況および母乳の分泌状態の確認 ③産後うつの確認 ④保健指導	①乳児の身体測定 ②乳児の成長発達の確認 ③母親の健康状態の確認 ④子育て相談 ⑤子育て環境の把握	育児全般に関する相談	・情報交換 ・講演会・相談会 ・家族交流会 ・親子レクリエーション
保健師 2名 助産師(嘱託) 1名 母子保健推進員 2名	保健師 5名 管理栄養士 1名 食生活改善推進員 3名	保健師 5名 助産師(嘱託) 2名	保健師 5名 助産師(嘱託) 2名	保健師 5名 管理栄養士 1名	保健師 1名
・平成22年度より実施	・平成24年度より事業開始 ・希望者が受講	・EPDS、赤ちゃんへの気持ち質問票を用いた、産前産後の母親への精神的フォローを実施(妊産婦・未熟児・新生児訪問) ・未熟児訪問は平成25年度より実施(県からの委譲)	・平成20年度より実施 ・EPDS、赤ちゃんへの気持ち質問票を用いた、産後の母親への精神的フォローを実施 ・子育て支援サービスの情報提供を実施	・平成10年度より子育て相談専用電話83-1920(イクジマル)を設置	・平成10年度より実施

事業名	健 康 診 査				乳幼児健診事後フォロー事業	
	4か月児健診	10か月児健診	1歳6か月児健診	3歳児健診	にじいろランド	ことばの相談会
対象	4か月児	10か月児	1歳6・7か月児	3歳5・6か月児	乳幼児健診の結果、その後の支援が必要と判断された幼児とその保護者	乳幼児健診等で言語発達・情緒・行動面等についてその後の支援が必要と判断された幼児とその保護者
回数	月1回	月1回	隔月1回	隔月1回	隔月1回	年4回
場所	保健センター	保健センター	保健センター	保健センター	保健センター	保健センター
内容	①受付 ②問診 ③身体計測 ④診察 (小児科・整形外科) ⑤結果説明 ⑥集団指導 ⑦離乳食指導	①受付 ②身体計測 ③問診・保健指導 ④小児科診察 ⑤歯科指導 ⑥結果説明 ⑦栄養相談	①受付 ②問診 ③身体計測 ④小児科診察 ⑤歯科診察 ⑥保健指導 ⑦結果説明 ⑧子育て相談 ⑨栄養相談 ⑩歯科指導 ⑪フッ素塗布 (希望者)	①受付 ②問診 ③身体計測 ④尿検査 ⑤視覚検査 ⑥小児科診察 ⑦歯科診察 ⑧紙芝居の読み聞かせ ⑨保健指導 ⑩結果説明 ⑪子育て相談 ⑫栄養相談 ⑬歯科指導	①受付 ②問診、自由遊び ③オリエンテーション ④はじまりの会 ⑤集団あそび ⑥おやつ ⑦おわりの会	①受付 ②問診、自由遊び ③個別相談
スタッフ	小児科医師 1名 整形外科医師 1名 保健師(町5、雇1) 6名 管理栄養士 1名	小児科医師 1名 保健師(町5、雇1) 6名 歯科衛生士 1名 管理栄養士 1名	小児科医師 1名 歯科医師 1名 臨床心理士 1名 歯科衛生士 3名 保健師(町5、雇1) 6名 管理栄養士 1名 事務(雇) 1名	小児科医師 1名 歯科医師 1名 臨床心理士 1名 視能訓練士 1名 歯科衛生士 3名 保健師(町5、雇1) 6名 管理栄養士 1名 事務(雇) 1名 母子保健推進員 2名	保健師 5名 保育士 2名	言語聴覚士 1名 保健師 5名
備考	・診察の結果、精密健康診査が必要と認められた児に対して乳児精密健康診査受診票を発行	・平成13年度より教室として実施していたが、平成18年度より診察有りの健診として実施 ・10～11か月児健診として、隔月で開催していたが、令和2年度より、10か月児健診として、4か月児健診と一緒に毎月実施	・平成12年度よりむし歯予防パーフェクト作戦の乳歯むし歯予防事業(希望者に対するフッ素塗布)を併せて実施 ・必要に応じて精密健康診査受診票を発行	・母子保健推進員による紙芝居の読み聞かせを実施 ・必要に応じて精密健康診査受診票を発行 ・令和2年度より新型コロナウイルス感染症の感染拡大により染め出しは中止 ・令和3年度より、視能訓練士による視覚検査を実施	・令和元年度より実施 ・後方支援：富山県発達障害者支援センター「ほっぷ」相談員	・令和5年度より実施

歯ッスルとやま8020推進事業				子どもサポート ネットワーク連絡会
妊婦歯科健康診査	乳歯むし歯予防事業	永久歯むし歯予防事業		
	歯科健診・フッ素塗布	フッ化物洗口	むし歯予防教室	
妊婦	2歳・2歳半・3歳児	・町内保育所へ通所 する年中・年長児 ・町内小学校へ通学 する1～6年生	・町内保育所へ通所 する年中児 ・町立小学校へ通所 する1・5年生	教育 福祉 保健 医療の関係者
妊娠中に1回	年12回	保育所:週1回 小学校:週1回	各保育所1回 各小学校1回	年4回
町内歯科医院	保健センター	各保育所 各小学校	各保育所 各小学校	保健センター研修室
・問診 ・歯及び歯周検査 ・結果説明	①受付 ②問診 ③歯科指導 ④結果説明 ⑤歯科指導 ⑥フッ素塗布	<u>洗口の手順</u> ・フッ素洗口液を口に 含み、約1分間のブ クブクうがいを実施 ・飲み込み児の確認	<u>年中児</u> ・歯の大切さ ・むし歯の原因 ・むし歯の予防 ・歯磨き指導 <u>小学1・5年生</u> ・口腔について説明 ・歯や舌の汚れの自己 チェック ・噛むことの大切さに ついて説明 ・歯磨き指導 ・歯周病について説明	・事例検討 ・学習会 ・関係者の連絡会
	歯科医師 1名 歯科衛生士 3名 保健師(町5、雇1) 6 名	担任保育士 担任教諭 養護教諭	歯科衛生士 保健師 保育士 養護教諭 担任教諭	小中高校 教諭・養護教諭 保育士 児童福祉事務担当者 学校教育事務担当者 保健師 (町・厚生センター) 助産師 地域療育支援 コーディネーター 総合支援学校教諭 子育てアドバイザー 主任児童委員
・平成27年度より実施 ・健診料金は無料	・1歳6か月～3歳6か月 の間に計5回(半年毎) 塗布 ・2・3回目は1歳6か月 児 健診、4回目は3歳児 健診と併せて実施 ・2・4回目にRDテストを 実施していたが、新型 コロナウイルス感染症 の感染拡大により、令 和2年度から中止	・保護者及び児童からの 希望があった者に実施 ・新型コロナウイルス感染 症の流行により、令和4 年度は、小学校では中 止していたが、令和5年 度より感染状況を見なが ら再開	・新型コロナウイルス感 染症の感染拡大によ り、令和2年度より中 止	・平成17年3月より実施 ・平成22年8月より 住民・子ども課が実施

2.母子保健事業実施状況

(1) プレ妊活健診

年度	申請件数	
	実数	延数
R5	-	-

(2) 不妊治療費助成事業

年度	申請件数		内 訳				内妊娠者数
	実数	延数	体外受精	顕微授精	融解胚移植	体調不良等による治療中止	
R4	4	7	-	2	5	-	1
R5	6	15	4	4	7	1	1

(3) 不育症治療費助成事業

年度	申請件数	
	実数	延数
R4	-	-
R5	-	-

(4) 妊娠の届出

年度	総数	妊 娠 届 出 状 況											
		満11週以内		12～19週		20～27週		28週以上		出産後		不詳	
		数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
R4	41	37	90.2	4	9.8	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0
R5	29	28	96.6	1	3.4	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0

(5) 妊婦一般健康診査

1) 受診状況

年度	発行実数	受 診 者 数 (実 数)													
		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目
R4	45	38	32	32	29	27	31	25	27	25	22	25	20	18	10
R5	29	31	32	31	33	35	33	36	36	38	36	34	24	17	8

2) 子宮頸部がん検診の受診結果

年度	受診者数	NILM	ASU-US	ASC-H	LSIL	HSIL				SCC	その他
		陰性			軽度異形成	中度異形成	高度異形成	上皮内癌	微小浸潤扁平上皮癌疑い	扁平上皮癌	
		I, II	II-IIIa	IIIa-b	IIIa	IIIa	IIIb	IV	V	V	
R4	38	37	-	-	-	-	-	-	-	1	-
R5	31	30	-	1	-	-	-	-	-	-	-

3) 受診結果

年度	不規則抗体		HBs抗原		HCV抗体		風疹抗体		梅毒血清反応	HIV抗体	HTLV-1抗体
	受診者数	陽性	受診者数	陽性	受診者数	陽性	受診者数	陽性	受診者数	受診者数	受診者数
R4	38	0	38	0	38	0	38	19	38	38	31
R5	29	0	31	0	30	0	30	20	31	31	33

年度	GBS	クラミジア
	受診者数	受診者数
R4	31	27
R5	44	36

(6) 妊婦精密健康診査

年度	受診状況		受診結果(実数)			
	発行実数	受診実数	特になし	要指導	要観察	要治療
R4	1	1	1	-	-	-
R5	2	2	2	-	-	-

(7) 妊婦歯科健康診査

年度	発行実数	受診者数
R4	41	8
R5	29	16

(8) 妊産婦訪問指導

年度	妊婦		産婦	
	実数	延数	実数	延数
R4	8	8	42	54
R5	7	7	56	68

(9) 産婦健康診査

1) 2週間健診受診状況

年度	受診実数	EPDS		総合判定							要訪問者への対応				精神科連携	
		9 点 以 上	項目 10 該 当	異 常 な し	要 指 導	要 精 検	要 治 療	要 訪 問	内訳(再掲)		訪 問 数	未 訪 問 数	主 理 未 訪 問 由	し 連 い 絡 が 状 望 態	連 絡 済	
									EPDS	その他						
R4	25	1	-	23	-	-	1	1	1	-	1	-		-	-	
R5	39	1	-	35	-	-	4	-	-	-	-	-		-	-	

2) 1か月健診受診状況

年度	受診 実数	EPDS		総合判定							要訪問者への対応			精神科連携	
		9 点 以 上	項目 10 該 当	異 常 な し	要 指 導	要 精 検	要 治 療	要 訪 問	内訳(再掲)		訪 問 数	未 訪 問 数	主理未訪 由問な	し連 い絡 が状 望望 態ま	連 絡 済
									EPDS	その他					
R4	22	-	-	21	-	-	1	-	-	-	-	-		-	-
R5	41	1	-	40	-	-	1	-	-	-	-	-		-	

(10)産前・産後サポート事業(ママカフェ)

年度	実施 回数	実数		延数	
		総数	町内者(再掲)	総数	町内者(再掲)
R4	12	14	12	50	47
R5	11	22	19	103	95

(11)産後ケア事業

年度	居宅訪問型		通所型		短期入所型	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数
R4	-	-	-	-	1	1
R5	-	-	-	-	-	-

(12)産後ヘルパー派遣事業

年度	実数	延数
R4	-	-
R5	1	1

(13)もうすぐパパママ教室

年度	開催回数	受講人数
R4	2	17
R5	2	17

(14)未熟児等訪問指導

年度	訪問数	
	実数	延数
R4	13	18
R5	18	25

(15)新生児訪問指導

年度	訪問数	
	実数	延数
R4	29	36
R5	39	45

(16)こんにちは赤ちゃん事業

年度	家庭訪問対象 全家庭数	生後4か月までの家庭訪問		訪問以外で対応(健診等)		要支援家庭 件
		件	率	件	率	
R4	28	27	96.4	1	3.6	7
R5	44	44	100.0	-	-	1

※要支援家庭とは、保健師が訪問によって支援が必要と判断した者及びアンケート調査にて高得点を示した者。

(17)もぐもぐごっくん教室

年度	開催回数	人数(延数)			
R4	4	親	24	子	24
R5	4	親	26	子	26

(18)4か月児健康診査

1) 受診状況

年度	実施回数	対象者数 (a)	受診者数 (b)	受診率 $(b/a) \times 100(\%)$	把訪問 による 握る	未受診者 数	未受診者理由(実数)					
							家事都合	病気・障害	健診に無関心	他機関で受診	その他	不明
R4	10	33	33	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
R5	12	39	39	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

2) 受診結果(実数)

年度	異常なし	要観察	要精健	要治療	治療中	計
R4	22	2	4	5	-	33
R5	29	3	4	-	3	39

3) 所見内訳

年度	有所見者		所 見 内 訳 (延 数)																
	実 数	延 数	発育 体 状 況	身 体 精 神 発 達	け い れ ん	運 動 機 能	感 覚 器 系 ・ 系	血 液 系	皮 膚	股 関 節	(股 開 排 制 限)節	斜 頸	循 環 器 系	呼 吸 器 系	消 化 器 系	生 殖 器 系	泌 尿 系	代 謝 系	先 天 的 特 徴
R4	11	13	-	-	-	3	-	-	4	4	1	-	2	-	-	1	-	-	
R5	10	13	2	-	-	3	1	-	1	3	1	-	-	-	1	1	-	-	

(19) 10か月児健康診査

1) 受診状況

年度	実施回数	対象者数(a)	受診者数(b)	受診率 (b/a) × 100(%)	把問に よ 握る	未受診者数	未受診者理由(実数)					
							家事都合	病気・障害	健診に無関心	他機関で受診	その他	不明
R4	10	31	30	96.8	-	1	-	1	-	-	-	-
R5	12	29	29	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

2) 受診結果(実数)

年度	異常なし	要観察	要精健	要治療	治療中	計
R4	21	1	5	-	3	30
R5	24	3	1	-	1	29

(20) 乳児精密健康診査

4か月児・10か月児健康診査で精密検査が必要であると判断された児に対し、乳児精密健康診査受診票を発行。

1) 受診状況

年度	受診状況		受診結果(実数)			
	発行部数	受診者数	特になし	要指導	要観察	要治療
R4	10	9	6	-	1	2
R5	6	5	4	-	1	-

2) 有所見者の内訳(延数)

年度	先天性股関節脱臼				臼蓋形成不全				整形外科的疾患				その他			
	要指導	要観察	要治療	計	要指導	要観察	要治療	計	要指導	要観察	要治療	計	要指導	要観察	要治療	計
R4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3
R5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

(21) 1歳6か月児健康診査

1) 受診状況

年度	実施回数	対象者数(a)	受診者数(b)	受診率 (b/a) × 100 (%)	把訪問により握る	未受診者数	未受診者理由(実数)					
							家事都合	病気・障害	健診に無関心	他機関で受診	その他	不明
R4	6	40	39	97.5	-	1	-	-	-	-	1	-
R5	5	32	31	96.9	-	1	-	1	-	-	-	-

2) 受診結果(実数)

年度	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療	計
R4	36	1	1	1	-	39
R5	27	2	1	1	-	31

3) 所見内訳

年度	有所見者		所見内訳(延数)									
	実数	延数	発育体況的	精神発達	れ熱性けいれん	運動機能	視覚	聴覚	血液系	皮膚	循環器系	呼吸器系
R4	3	3	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-
R5	4	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-

消化器系	生泌尿殖器系	身先天的特性徴	の生活問習慣題上	の精神問行動題上	異その他常
-	1	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

4) 精神面指導区分(再掲)

年度	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療	計
R4	24	1	14	-	-	39
R5	18	2	10	1	-	31

5)精密健康診査

①精健票発行状況(実数)

年度	発行枚数	受診者数
R4	1	1
R5	1	1

②受診結果(実数)

年度	異常なし	要経過観察	要治療	再掲		計
				精神面	身体面	
R4	1	-	-	-	-	1
R5	-	1	-	-	-	1

③精健受診結果所見内訳

年度	有所見者		所見内訳（延数）																	
年度	実数	延数	発育状況	身体発達	精神発達	けいれん性	熱性	運動機能	視覚	聴覚	血液系	皮膚	循環器系	呼吸器系	消化器系	泌尿生殖器系	身体的特徴	生活習慣	精神行動	その他
R4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R5	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

6)歯科健診

07 歯科健診												
年度	対 象 者 数 (a)	受 診 者 数 (b)	受 診 率 (b)/(a) ×100(%)	生歯数		罹患型						むし歯罹患率 (A+B+C)/ (b)×100(%)
				総 数 (d)	当一 り 数人 (d)/(b)	O1	O2					
								A	B	C	計	
R4	40	39	97.5	590	15.1	16	22	1	-	-	1	2.6
R5	32	31	96.9	416	13.4	21	10	-	-	-	-	0.0

年度	むし歯の数			むし人 歯当 数り	決間 め食の い時 る間 者を	歯の汚れ			あ軟 組 織 異 り常	あ咬 合 異 り常	あそ の 他 異 り常	指 し や ぶ り
	歯末 処 数置	処 置 歯 数	計			き れ い	ふ つ う	き た な い				
R4	5	-	5	0.13	25	-	38	1	-	2	2	6
R5	-	-	-	0.00	21	7	23	1	-	3	-	11

7)健診担当者

年度	小内 児科 医師科	歯 科 医 師	保市 健町 師村	保雇 い健 上 師げ	心 理 相 談 員	管 理 栄 養 士	歯 科 衛 生 士	事 務	計
R4	1	1	5	1	1	1	3	1	14
R5	1	1	5	1	1	1	3	1	14

(22) 3歳児健康診査

1) 受診状況

年度	実 施 回 数	対 象 者 数 (a)	受 診 者 数 (b)	受 診 率 (b/a) × 100(%)	把 訪 問 に よ 握 る	未 受 診 者 数	未受診者理由(実数)					
							家 事 都 合	障 病 害 気	健 診 に 無 関 心	他 機 関 で 受 診	そ の 他	不 明
R4	6	44	44	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
R5	6	35	35	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

2) 診察所見

①診察所見判定(実数)

年度	異 常 な し	既 医 療	要 経 過 観 察	要 精 密	要 治 療	計
R4	30	6	3	5	-	44
R5	25	5	1	4	-	35

②眼科所見(実数)

年度	異 常 な し	既 医 療	要 経 過 観 察	要 精 密	計
R4	32	6	2	4	44
R5	27	4	1	3	35

③耳鼻咽喉科所見(実数)

年度	異 常 な し	既 医 療	要 経 過 観 察	要 精 密	計
R4	42	2	-	0	44
R5	33	-	1	1	35

④診察所見内訳

年度	有所見者		所見内訳(延数)									
	実 数	延 数	発 育 体 状 況 的	精 神 発 達	再掲			け 熱 い れ ん 性	運 動 機 能	感 神 覚 器 系 系	血 液 系	皮 膚
					の知的障 害	合 併 的 障 害 の 有 無	不 明					
R4	14	17	-	2	-	1	1	-	1	11	-	-
R5	10	10	-	2	-	2	-	-	-	8	-	-

循環器系	呼吸器系	消化器系	生殖泌尿系	先天性特徴	生活習慣問題上	情緒行動問題上	その他
-	2	1	2	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-

3)精神面指導区分(再掲)

年度	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療	計
R4	24	2	18	-	-	44
R5	22	2	11	-	-	35

4)精密健康診査

①精健票発行状況(実数)

年度	発行枚数	受診者数
R4	5	4
R5	4	2

②受診結果(実数)

年度	異常なし	要経過観察	要治療	再掲		計
				精神面	身体面	
R4	1	2	1	-	1	4
R5	-	2	-	-	-	2

③精健受診結果所見内訳

年度	有所見者		所見内訳(延数)										
	実 数	延 数	発身 育体 状況的	精 神 発 達	再掲			け熱 い れ ん性	運 動 機 能	感神 覚經 器系	血 液 系	皮 膚	
					の知的 障 害 み害	合 併 的 障 害 の	発達 障 害						不 明
R4	3	3	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	
R5	2	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	

循環器系	呼吸器系	消化器系	泌尿生殖器	先天性特徴	生活習慣問題	情緒行動問題	その他
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-

④精健受診結果所見内訳(視覚)

年度	実数	再掲	
		異視常力	異眼常位
R4	3	3	-
R5	1	-	1

⑤精健受診結果所見内訳(聴覚)

年度	実数	再掲			
		難聴	中耳炎	言語発達	耳の疾患
R4	-	-	-	-	-
R5	1	-	-	-	1

5) 歯科健診

年度	対象者数 (a)	受診者数 (b)	受診率 (b)/(a) ×100(%)	生歯数		罹患型					むし歯罹患率 (A+B+C1+C2)/ (b)×100(%)	
				総数 (d)	当たり 数人 (d)/(b)	O						計
							A	B	C1	C2		
R4	44	44	100.0	878	20.0	42	1	1	－	－	2	4.5
R5	35	35	100.0	701	20.0	28	5	1	－	1	7	20.0

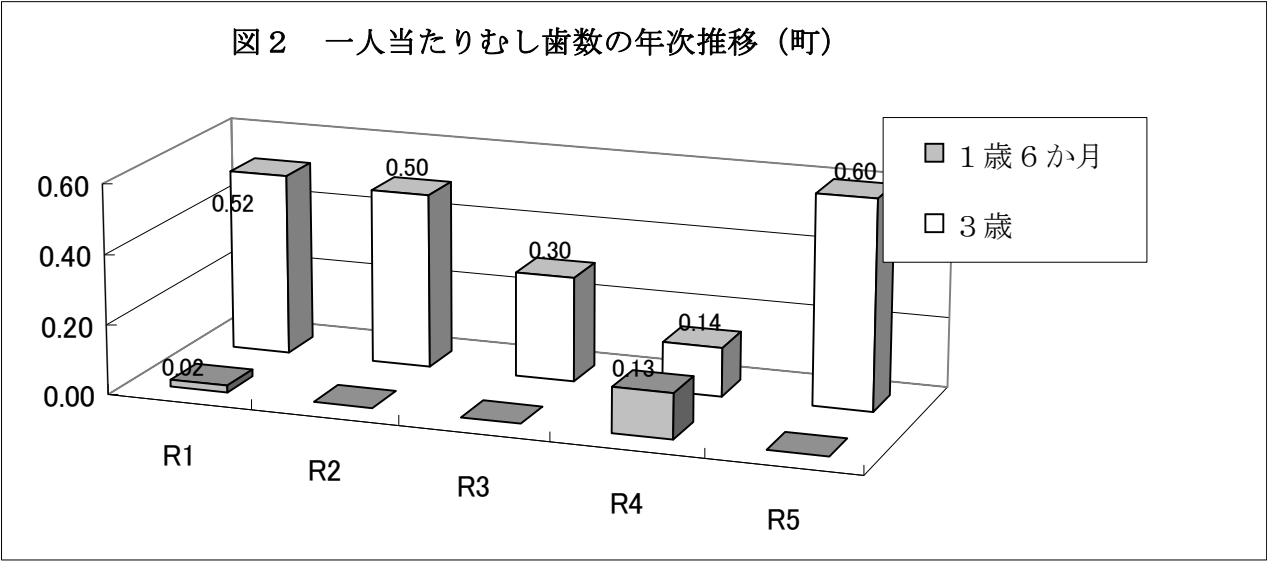
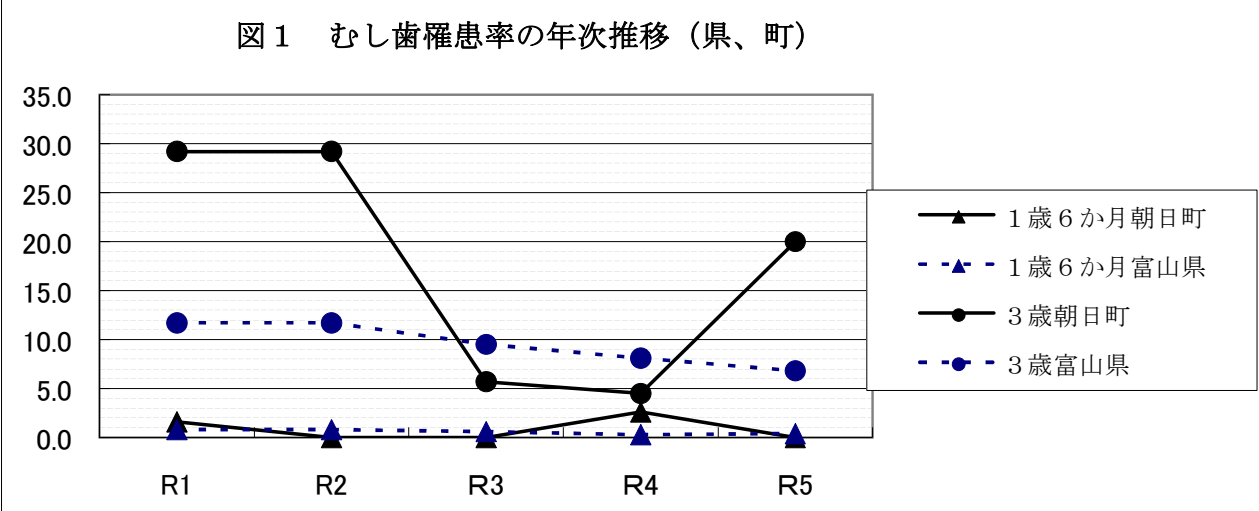
年度	むし歯の数			むし し人 歯当 数り	むし歯の判定(実数)			歯の汚れ(実数)			軟組織の異常			
	歯未 処 数置	処 置 歯 数	計		異 常 な し	要 注 意	要 治 療	異 常 な し	要 注 意	要 治 療	へ異 実常 数あ り	異常の内訳(延数)		
												小 帯	歯 肉	そ の 他
R4	6	-	6	0.1	35	7	2	-	42	2	-	-	-	-
R5	13	7	20	0.6	26	3	6	2	33	-	-	-	-	-

年度	不正咬合								その他の異常				
	へ異 実常 数あ り	不正咬合内訳(延数)							へ異 実常 数あ り	異常の内訳(延数)			
		反 対 咬 合	開 咬	上 顎 前	そ う 生	過 蓋 咬 合	交 叉 咬 合	そ の 他		癒 合 歯	先 天 欠 如	過 剰 歯	そ の 他
R4	4	1	-	-	1	-	1	1	4	4	-	-	-
R5	8	3	-	-	2	1	1	1	-	-	-	-	-

6) 健診担当者

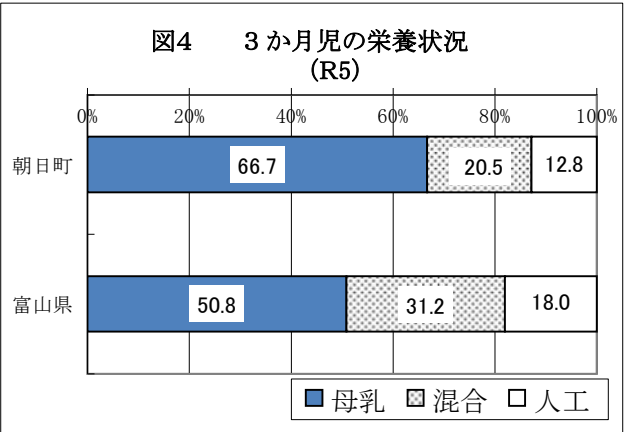
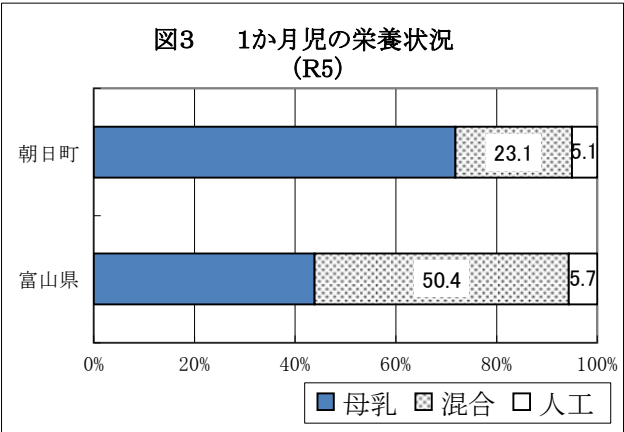
年度	小内 児 科 医 師科	歯 科 医 師	保市 健町 師村	保雇 い 健 上 師げ	心 理 相 談 員	視 能 訓 練 士	管 理 栄 養 士	歯 科 衛 生 士	推母 子 進 保 員健	事 務	計
R4	1	1	5	1	1	1	1	2	2	1	16
R5	1	1	5	1	1	1	1	2	2	1	16

(23)むし歯罹患率及び一人当たりむし歯数



(24)乳児栄養方法調査結果

年度	1か月児						3か月児					
	母乳		混合		人工		母乳		混合		人工	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
R3	19	52.8	14	38.9	3	8.3	24	66.7	9	25.0	3	8.3
R4	19	57.6	14	42.4	-	0.0	21	63.6	9	27.3	3	9.1
R5	28	71.8	9	23.1	2	5.1	26	66.7	8	20.5	5	12.8



(25) 個別相談

年度	育児相談(来所)	テレホン育児相談
R4	38	18
R5	随時	

(26) 障害児をもつ母親の集い

年度	回数
R4	12
R5	12

(27) 乳幼児健診事後フォロー教室「にじいろランド」

年度	実施回数	参加実数(組)	参加延数(組)
R4	5	6	12
R5	6	7	21

(28) ことばの相談会

年度	実施回数	参加実数(組)	参加延数(組)
R5	4	6	7

(29) 乳歯・永久歯むし歯予防事業

1) フッ素塗布希望者数

年度	1歳6か月児健診 対象者	1歳6か月児健診 受診者	フッ素塗布 希望者
R4	39	39	39 (100.0 %)
R5	32	31	29 (94.0 %)

2) フッ素塗布実施数

年度		内 訳 (延 数)				
		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
R4	対象者	39	42	32	35	40
	塗布実施数	39	38	29	33	39
R5	対象者	31	35	36	35	33
	塗布実施数	29	34	34	31	33

3) フッ化物洗口実施状況

① 保育所(4・5歳児)

年度	対象者数	希望者数	洗口希望者率
R4	116	113	97.4 %
R5	112	108	96.4 %

② 小学校

年度	対象者数	希望者数	洗口希望者率
R4	364	0	0.0 %
R5	363	343	94.5 %

※小学校において、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染流行により中止

第 3 章 成 人 保 健

1.成人保健事業内容

事業名	健康教育			・特定健康診査(40～74歳) ・後期高齢者の健康診査(75歳以上) ・健康診査(生保、39歳以下)	
	糖尿病予防教室	高血圧改善教室	健康体操		
対象	特定健診結果において、血糖値の要指導者	特定健診結果において、血圧の要指導者	一般住民	65歳以上	・64歳以下 ・65歳以上74歳以下の希望者
開催回数	1回	2回	週1回	6月～10月	6月～9月(10回)
開催場所	役場4階大ホール	保健センター	保健センター	町内医療機関	・保健センター ・サンリーナ
内容	・講義(医師) ・健診結果の見方と食事量について(保健師・管理栄養士)	・尿検査 ・血圧測定、塩分測定(希望者) ・講義(医師) ・血圧手帳の使い方について(保健師) ・食生活の工夫について(管理栄養士)	・組み操法 ・要の操法 ・五導術	*必須検査 ・問診 ・身体計測 ・尿検査 ・血圧測定 ・診察 ・血液検査(脂質・肝機能・血糖) ・クレアチニン検査 *詳細な検査 ・心電図 ・眼底検査 ・貧血検査	*必須検査 ・問診 ・身体計測 ・尿検査 ・血圧測定 ・診察 ・血液検査(脂質・肝機能・血糖) ・クレアチニン検査 *詳細な検査 ・心電図 ・眼底検査 ・貧血検査 *肝炎ウイルス検診
備考				・町内医療機関に委託 ・平成26年度より無料	・日本健康倶楽部に委託 ・平成26年度より無料

特定保健指導	訪 問 指 導	健康相談	骨粗鬆症検診	歯周疾患検診
	健診事後訪問			
特定健康診査の結果 メタボリックシンドロームの 該当者及びその予備群	40歳～74歳の 特定健康診査受診者	希望者	40,45,50,55,60,65,70歳 の女性	40,50,60,70歳
・7月より開始し、3か月 後以降に最終評価	随時	週1回	6月～10月	6月～10月
保健センター	各家庭	保健センター	・あさひ総合病院 ・坂東病院	町内歯科医院
☆積極的支援 ☆動機付け支援 ①個別面接 ②中間測定 ③最終評価	・結果説明及び指導 糖尿病 高血圧 脂質異常 CKD疑い 心電図有所見	・一般相談 ・栄養相談 ・心の健康相談	・問診 ・骨量測定 ・結果説明及び指導	・問診 ・歯周組織検査 ・結果説明
・H26年度よりモデル 地区を選定し、訪問 による特定保健指 導を実施。 ・H28年度より全数訪 問による特定保健 指導を実施。	・H23年度より糖尿病予 防訪問指導事業を 実施。 ・平成26年度より生活習 慣病予防訪問指導事 業を実施。		・検診料金500円を徴収 (70歳は無料)	・検診料金500円を徴収 (70歳は無料)

事業名	がん検診		
	胃がん検診	子宮がん検診	乳がん検診
対 象	40歳以上	20歳以上の女性	30歳以上の女性
開催回数	①集団検診:4回 ②医療機関:年間通じて	①集団検診:5回 ②医療機関:年間通じて	①集団検診:5回 ②医療機関:年間通じて
開催場所	①保健センター ②あさひ総合病院 坂東病院 島谷クリニック	①保健センター ②県内の産婦人科 (富山大学附属病院・ 富山県立中央病院は 除く)	①保健センター ②あさひ総合病院
内 容	①集団検診(X線) ・問診 ・検診車での 胃部X線撮影 ②医療機関検診(内視鏡) ・問診 ・胃内視鏡検査	①集団検診 ・問診 ・検診車での 視診、内診 ・子宮頸部の細胞診 ②医療機関検診 ・問診 ・視診、内診 ・子宮頸体部の細胞診	①集団検診 ・問診 ・検診車での マンモグラフィ撮影 (30・40歳代:2方向撮影) (50歳以降:1方向撮影) ②医療機関検診 ・問診 ・視触診 ・マンモグラフィ撮影 (2方向撮影)
備 考	・平成24年度より、医療機関検診に胃内視鏡検査を追加 ・令和3年度より、あさひ総合病院での胃X線検査を中止		・集団検診での視触診は平成28年度で終了

がん検診			
結核・肺がん検診	肺がんヘリカルCT	大腸がん検診	前立腺がん検診
40歳以上	40歳以上	40歳以上	50歳以上の男性
①特定健診と同時実施 ②医療機関:6月～10月	集団検診:1回	5月～11月	①特定健診と同時実施 (10回) ②医療機関:年間通じて
①保健センター サンリーナ ②あさひ総合病院 坂東病院 島谷クリニック	保健センター	保健センター サンリーナ	①保健センター サンリーナ ②あさひ総合病院
①集団検診 ・胸部X線撮影 ・喀痰検査 (希望者) ②医療機関検診 (65歳以上) ・胸部X線撮影 ・問診(あさひ総合病院のみ)	・問診 ・検診車でのCT検査	・問診 ・便潜血検査	①集団検診 ・問診 ・血液検査(PSA) ②医療機関検診 ・問診 ・内診 ・血液検査(PSA)
・令和2年度より、医療機関検診にあさひ総合病院を追加	・平成28年度より実施 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止		・平成10年度より、集団検診を開始 ・平成21年度より、医療機関検診を開始 ・平成23年度より、集団検診を特定健診と同時実施

2.健康教育開催状況

令和5年度

区 分	開 催 回 数	参加延人員
糖尿病予防教室	1	28
高血圧改善教室	2	18
健康体操教室	45	348
知って得する健康教室	0	0
その他の健康教育	1	13
計	49	407

3.健康相談実施状況

令和5年度

区 分	開催回数	被指導延人員
総合健康相談	46	427

4.訪問指導実施状況

令和5年度

要指導者等	実人員	85
	延人員	85

5.健康診査実施状況

生活保護者、39歳以下受診状況

令和5年度

受診者数	生活保護者	5
	39歳以下	2

(2) 肝炎ウイルス検診実施状況

令和5年度

	対象者	受診者		B型		C型				
		B型	C型	陽性	陰性	判定①	判定②	判定③	判定④	判定⑤
40歳	87	4	4	0	4	0	0	0	0	4
40歳以外		44	44	0	44	0	0	0	0	44

(3) 骨粗鬆症検診実施状況

令和5年度

	対象者	受診者数	要精検者	要指導者	異常認めず
40歳	45	5	0	2	3
45歳	61	4	0	1	3
50歳	67	8	0	1	7
55歳	74	13	1	2	10
60歳	63	11	2	6	3
65歳	94	17	3	6	8
70歳	88	21	2	5	14
計	492	79	8	23	48

(4) 歯周疾患検診実施状況

令和5年度

	対象者	受診者数	要精検者	要指導者	異常認めず
40歳	87	3	3	0	0
50歳	132	4	3	0	1
60歳	128	7	7	0	0
70歳	171	12	9	2	1
計	518	26	22	2	2

6.がん検診実施状況

(1) 胃がん検診実施状況

1) 集団(X線)

令和5年度

		受診者 数 (年度中)	要精密 検査 者数 (年度中)	精密検査受診者						未受診	未把握
				異常 認めず	異常を認める						
					胃がんで あった者 (転移性を 含まない)	胃がん のうち 早期 がん		胃がんの 疑いの ある者 又は 未確定	胃がん以外 の疾患で あった者 (転移性の 胃がん含 む)		
							早期がん のうち 粘膜内 がん				
男	40～44歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	45～49歳	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～54歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	55～59歳	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	7	2	1	－	－	－	－	1	－	－
	70～74歳	12	2	－	－	－	－	－	2	－	－
	75～79歳	7	1	－	－	－	－	－	1	－	－
	80歳以上	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計	35	5	1	－	－	－	－	4	－	－
女	40～44歳	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	45～49歳	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～54歳	9	1	－	－	－	－	－	1	－	－
	55～59歳	8	2	－	－	－	－	－	2	－	－
	60～64歳	12	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	18	2	1	－	－	－	－	1	－	－
	70～74歳	16	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	75～79歳	11	1	－	－	－	－	－	1	－	－
	80歳以上	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計	82	6	1	－	－	－	－	5	－	－

(1) 胃がん検診実施状況

2) 個別(内視鏡)

令和5年度

		受診者数 (年度中)	要精密検査者数 (年度中)	精密検査受診者						検診時生検未受診のうち再検査未受診	検診時生検未受診のうち再検査未把握
				異常認めず	異常を認める						
					胃がんであった者 (転移性を含まない)			胃がんの疑いのある者 又は未確定	胃がん以外の疾患であった者 (転移性の胃がん含む)		
						胃がんのうち早期がん	早期がんのうち粘膜内がん				
男	50～54歳	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	55～59歳	5	1	－	－	－	－	－	1	－	－
	60～64歳	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	22	2	－	－	－	－	－	2	－	－
	70～74歳	40	8	－	－	－	－	－	8	－	－
	75～79歳	60	8	－	－	－	－	－	8	－	－
	80歳以上	45	3	－	－	－	－	－	3	－	－
	計	179	22	－	－	－	－	－	22	－	－
女	50～54歳	23	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	55～59歳	23	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	24	3	－	－	－	－	－	3	－	－
	65～69歳	63	5	－	－	－	－	－	5	－	－
	70～74歳	79	9	－	1	1	1	－	8	－	－
	75～79歳	67	5	－	－	－	－	－	5	－	－
	80歳以上	52	3	－	－	－	－	－	3	－	－
	計	331	25	－	1	1	1	－	24	－	－

(2) 大腸がん検診実施状況

令和5年度

		受診者 数 (年度中)	要精密 検査者 数 (年度中)	精密検査受診者							未受診	未把握
				異常 認めず	異常を認める							
					大腸 がんで あった者 (転移性 を含ま ない)	大腸が んの うち 早期 がん	早期が んの うち 粘膜内 がん	大腸が んの疑 いの ある者 又は 未確定	腺腫の あった者	大腸がん 以外の疾 患であ った者 (転 移性の 大腸 がん含 む)		
男	40～44歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	45～49歳	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～54歳	4	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	55～59歳	11	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	60～64歳	12	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	43	3	-	1	-	-	-	2	-	-	-
	70～74歳	43	2	-	1	1	1	-	1	-	-	-
	75～79歳	65	8	2	-	-	-	-	6	-	-	-
	80歳以上	49	5	2	1	-	-	-	1	-	-	-
	計	237	21	4	4	1	1	-	11	1	-	-
女	40～44歳	12	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	45～49歳	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～54歳	18	2	1	-	-	-	-	-	1	-	-
	55～59歳	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60～64歳	39	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	65～69歳	100	7	1	-	-	-	-	4	1	1	-
	70～74歳	97	2	-	1	1	-	-	1	-	-	-
	75～79歳	83	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-
	80歳以上	56	5	1	-	-	-	-	1	2	-	1
	計	451	23	4	1	1	-	-	10	5	2	1

(3) 肺がん検診実施状況

1) 集団(X線)

令和5年度

		受診者 数 (年度中)	要精密 検査 者数 (年度中)	精密検査受診者				未受診	未把握	
				異常 認めず	異常を認める					
					肺がんで あった者 (転移性を 含まない)	肺がん のうち 臨床病期 0～Ⅰ期	肺がんの 疑いの ある者 又は 未確定			肺がん以外 の疾患で あった者 (転移性の 肺がん含 む)
男	40～44歳	4	－	－	－	－	－	－	－	
	45～49歳	11	－	－	－	－	－	－	－	
	50～54歳	9	－	－	－	－	－	－	－	
	55～59歳	21	－	－	－	－	－	－	－	
	60～64歳	22	－	－	－	－	－	－	－	
	65～69歳	47	2	－	－	－	2	－	－	
	70～74歳	73	2	1	－	－	1	－	－	
	75～79歳	68	3	2	－	－	1	－	－	
	80歳以上	74	9	1	－	－	6	2	－	
	計	329	16	4	－	－	－	10	2	－
女	40～44歳	8	－	－	－	－	－	－	－	
	45～49歳	16	－	－	－	－	－	－	－	
	50～54歳	26	1	1	－	－	－	－	－	
	55～59歳	31	1	－	－	－	1	－	－	
	60～64歳	48	1	－	－	－	1	－	－	
	65～69歳	74	1	－	－	－	1	－	－	
	70～74歳	106	3	－	－	－	1	2	－	
	75～79歳	82	4	1	－	－	－	3	－	
	80歳以上	81	7	2	－	－	－	4	1	－
	計	472	18	4	－	－	1	12	1	－

(3) 肺がん検診実施状況

2) 集団(喀痰)

令和5年度

		受診者数 (年度中)	要精密検査者数 (年度中)	精密検査受診者						未受診	未把握
				異常認めず	異常を認める						
					肺がんであった者(転移性を含まない)	肺がんのうち喀痰細胞診のみで発見された者	肺がんのうち臨床病期0～Ⅰ期	肺がんの疑いのある者又は未確定	肺がん以外の疾患であった者(転移性の肺がん含む)		
男	40～44歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	45～49歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～54歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	55～59歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	75～79歳	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	80歳以上	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－
女	40～44歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	45～49歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～54歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	55～59歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	75～79歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	80歳以上	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

(3) 肺がん検診実施状況

3) 個別(X線)

令和5年度

		受診者数 (年度中)	要精密検査者数 (年度中)	精密検査受診者				未受診	未把握	
				異常認めず	異常を認める					
					肺がんであった者 (転移性を含まない)	肺がんのうち 臨床病期0～Ⅰ期	肺がんの疑いのある者 又は未確定			肺がん以外の疾患であつた者 (転移性の肺がん含む)
男	40～44歳	－	－	－	－	－	－	－	－	
	45～49歳	－	－	－	－	－	－	－	－	
	50～54歳	－	－	－	－	－	－	－	－	
	55～59歳	－	－	－	－	－	－	－	－	
	60～64歳	－	－	－	－	－	－	－	－	
	65～69歳	28	－	－	－	－	－	－	－	
	70～74歳	35	－	－	－	－	－	－	－	
	75～79歳	84	－	－	－	－	－	－	－	
	80歳以上	107	4	1	－	－	－	3	－	－
	計	254	4	1	－	－	－	3	－	－
女	40～44歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	45～49歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～54歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	55～59歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	68	1	－	－	－	－	1	－	－
	70～74歳	107	1	－	－	－	－	1	－	－
	75～79歳	156	7	2	1	－	－	4	－	－
	80歳以上	177	3	1	－	－	－	2	－	－
	計	508	12	3	1	－	－	8	－	－

(4) 子宮がん検診実施状況

令和5年度

		受診者数 (年度中)	要精密検査者数 (年度中)	精密検査受診者										未受診	未把握
				異常認めず	異常を認める										
					子宮頸がんであった者(転移性を含まない)	子宮頸がんのうち進行度がⅠA期のがん	AISであった者	CIN3であった者	CIN2であった者	CIN3又はCIN2のいずれかで区別できないもの	CIN1であった者	子宮頸がんの疑いのある者又は未確定	子宮頸がん、AIS及びCIN以外の疾患であった者(転移性の子宮頸がんを含む)		
集団	20～24歳	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	25～29歳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	30～34歳	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	35～39歳	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40～44歳	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	45～49歳	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～54歳	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55～59歳	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60～64歳	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	70～74歳	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75～79歳	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	80歳以上	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	202	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
個別	20～24歳	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25～29歳	15	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	30～34歳	10	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	35～39歳	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40～44歳	41	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	45～49歳	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～54歳	59	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	55～59歳	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60～64歳	58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	72	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	70～74歳	63	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75～79歳	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	80歳以上	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	512	7	3	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-

(5) 乳がん検診実施状況

令和5年度

		受診者 数 (年度中)	要精密 検査 者数 (年度中)	精密検査受診者						未受診	未把握
				異常 認めず	異常を認める						
					乳がんで あった者 (転移性を 含まない)	乳がん のうち 早期 がん		乳がんの 疑いの ある者 又は 未確定	乳がん以外 の疾患で あった者 (転移性の 乳がん含 む)		
							早期がん のうち 非浸潤 がん				
集団	40～44歳	12	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	45～49歳	10	1	1	－	－	－	－	－	－	－
	50～54歳	20	1	1	－	－	－	－	－	－	－
	55～59歳	25	3	2	－	－	－	－	1	－	－
	60～64歳	18	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	54	3	2	－	－	－	－	1	－	－
	70～74歳	40	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	75～79歳	43	5	1	－	－	－	－	4	－	－
	80歳以上	17	1	－	－	－	－	－	1	－	－
	計	239	14	7	－	－	－	－	7	－	－
個別	40～44歳	26	1	1	－	－	－	－	－	－	－
	45～49歳	37	2	2	－	－	－	－	－	－	－
	50～54歳	42	3	1	－	－	－	－	2	－	－
	55～59歳	47	2	－	－	－	－	－	2	－	－
	60～64歳	46	1	－	－	－	－	－	1	－	－
	65～69歳	73	4	－	2	－	－	－	2	－	－
	70～74歳	84	1	1	－	－	－	－	－	－	－
	75～79歳	50	2	－	1	－	－	－	1	－	－
	80歳以上	19	2	－	－	－	－	－	2	－	－
	計	424	18	5	3	－	－	－	10	－	－

(6) 前立腺がん検診実施状況

令和5年度

		受診者数 (年度中)	要精密検査者数 (年度中)	精密検査受診者					未受診	未把握
				異常認めず	がんであった者	前立腺肥大症	がんの疑いのある者または未確定	がん以外の疾患であった者		
集団	50～54歳	2	－	－	－	－	－	－	－	－
	55～59歳	10	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	15	2	－	－	2	－	－	－	－
	65～69歳	36	1	1	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	35	5	－	1	4	－	－	－	－
	75～79歳	44	4	1	－	2	－	－	1	－
	80歳以上	28	6	－	－	2	－	－	－	1
	計	170	18	2	1	10	－	－	1	1
個別	50～54歳	1	－	－	－	－	－	－	－	－
	55～59歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	5	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	9	－	－	－	－	－	－	－	－
	75～79歳	3	－	－	－	－	－	－	－	－
	80歳以上	8	－	－	－	－	－	－	－	－
	計	26	－	－	－	－	－	－	－	－

7.健康診査受診状況(年次比較)

		年度	対象者数	受診者数	受診者の内訳		受診率 ※1	備考	朝日町の 対象年齢
					集団	医療機関			
健康診査		R3	—	7	5	2	—		生保・ 39歳以下
		R4	—	12	8	4	—		
		R5	—	7	4	3	—		
骨粗鬆症検診		R3	503	73		73	14.5	骨粗鬆症 10	節目年齢者
		R4	504	75		75	14.9	骨粗鬆症 10	
		R5	492	79		79	16.1	骨粗鬆症 6	
歯周疾患検診		R3	605	26		26	4.3	要精検 20	節目年齢者
		R4	596	64		64	10.7	要精検 52	
		R5	518	26		26	5.0	要精検 22	
がん 検 診 ※2	肺	R3	4,372	1,390	440	950	31.8	がん0	40歳以上
		R4	4,302	1,592	732	860	37.0	がん0	
		R5	4,372	1,563	801	762	35.8	がん0	
	胃	R3	3,525	728	143	585	20.7	がん2	40歳以上
		R4	3,436	708	135	573	20.6	がん0	
		R5	3,443	645	117	528	18.7	がん1	
	子宮	R3	2,621	832	249	583	31.7	がん1	20歳以上の 女性
		R4	2,562	766	240	526	29.9	がん0	
		R5	2,501	714	202	512	28.5	がん0	
	乳房	R3	2,453	730	295	435	29.8	がん1	30歳以上の 女性
		R4	2,400	744	298	446	31.0	がん3	
		R5	2,345	694	254	440	29.6	がん3	
	大腸	R3	3,415	619	619		20.6	がん1	40歳以上
		R4	3,392	698	698		20.6	がん1	
		R5	3,414	688	688		20.2	がん5	
	前立腺	R3	3,206	122	88	34	3.8	がん2	50歳以上の 男性
		R4	3,011	181	151	30	6.0	がん2	
		R5	3,024	196	170	26	6.5	がん1	

※1) 受診率＝(受診者数/対象数)×100

※2) がん検診について

- ・対象者:朝日町で定める対象年齢のうち、職場等でがん検診を受診する機会がない者
ただし、前立腺がん検診については、50歳以上の男性の全人口
- ・受診者:朝日町で定める対象年齢内での受診者

第 4 章 結核・予防接種

1.結核検診実施状況

令和5年度

対象者数	受診者数	受診率	要精検	精検受診	精検 受診率	発見結核 患者数
3,395	1,409	41.5	49	45	91.8	-

受診者数: 集団検診646人、医療機関検診763人

2. 予防接種実施状況

(1) 定期接種 予防接種法による接種

令和5年度

種類及び接種区分				対象者数 (※1)	被接種者数	接種率(%)
A 類 疾 病	ロタウイルス感染症(※2) (経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン)	1回目		33	2	6.1%
		2回目		33	2	6.1%
	ロタウイルス感染症(※2) (5価経口弱毒生ロタウイルスワクチン)	1回目		33	41	124.2%
		2回目		33	38	115.2%
		3回目		33	36	109.1%
	B型肝炎	1回目		33	43	130.3%
		2回目		33	40	121.2%
		3回目		33	30	90.9%
	ヒブ	初回	1回目	33	43	130.3%
			2回目	33	40	121.2%
			3回目	33	39	118.2%
		追加		25	18	72.0%
	小児用肺炎球菌	初回	1回目	33	43	130.3%
			2回目	33	40	121.2%
			3回目	33	39	118.2%
		追加		25	18	72.0%
	4種混合 (DPT-IPV)	1期初回	1回目	33	44	133.3%
			2回目	33	42	127.3%
			3回目	33	41	124.2%
		1期追加		25	22	88.0%
	2種混合(DT)	2期		69	49	71.0%
	結核(BCG)			33	36	109.1%
	麻しん風しん混合 (MR)	1期		25	21	84.0%
		2期		61	58	95.1%
	風しん	5期		10	12	120.0%
	水痘	初回		25	23	92.0%
追加		25	28	112.0%		
日本脳炎(※3)	1期初回	1回目	41	43	104.9%	
		2回目	41	41	100.0%	
	1期追加		35	57	162.9%	
	2期		95	73	76.8%	
子宮頸がん(※4)	定期	1回目	24	24	100.0%	
		2回目	24	14	58.3%	
		3回目	24	10	41.7%	
	キャッチアップ	1回目	227	42	18.5%	
		2回目	227	21	9.3%	
		3回目	227	22	9.7%	
B類 疾病	高齢者インフルエンザ			4,995	3,123	62.5%
	高齢者肺炎球菌感染症(※5)			570	148	26.0%

*令和5年度における予防接種実施状況調査

※1 対象者の算定方法: 年度内に標準的な接種年齢に達する者の人口

※2 ロタウイルス感染症については、令和2年10月1日より定期接種に位置づけられた。2種類のワクチンがある。

※3 日本脳炎については、平成17年5月30日から積極的勧奨を差し控えていたが、平成22年4月から順次積極的勧奨を再開した。

日本脳炎2期について、令和3年度、ワクチンの供給量不足により案内ができなかった10歳になる者へも個別通知を行った。

※4 子宮頸がんについては、平成25年の6月より積極的勧奨を差し控えていたが、令和4年度から積極的勧奨を再開した。また、定期接種の機会を逃した者に対して、キャッチアップ接種を実施している(令和6年度まで)。

○風しんの追加的対策

風しんの予防接種は、現在、予防接種法に基づき公的に行われている。しかし、公的な接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、抗体保有率が他の世代に比べて低く(約80%)になっている。

そのため、令和元年度から令和3年度までの3年間に限り、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を風しんの定期接種の対象者とし、公費による抗体検査・予防接種を実施。新型コロナウイルス感染症に伴う影響により実施当初の見込みどおりに対策が進まないことから当初目標まで後退保有率を引き上げるため、令和6年度末まで実施期間を延長。

※令和4年度は抗体検査未受診者、抗体検査の結果陰性で予防接種未接種者にクーポン券発送

対象者	741人
抗体検査受診者	35人
陰性者	10人

(2)任意接種

○成人の風しん予防接種費助成事業

妊婦が風しんに感染することによって発生する、赤ちゃんの「先天性風しん症候群」を予防する目的として、妊娠を希望する女性とその配偶者を対象に、風しん予防接種費用の一部を助成している。(平成25年8月～)

	申請者数		接種者数	
	男	女	男	女
令和5年度	-	2	-	1

(※内、前年度申請者0)

○小児インフルエンザ予防接種費用助成事業

インフルエンザは、毎年冬から春にかけて流行しやすく、保育所や学校での感染拡大が懸念されるため、接種しやすい体制をつくり、罹患や重症化を防ぐ目的として予防接種費用の一部助成をしている。(平成26年度～)

	対象者数	被接種者数		接種率
令和5年度	773	初回	365	47.2%
		追加	192	24.8%

【対象者】

* 令和5年度：小学1年生から高校3年生相当まで

(生後6か月から未就学相当児まで、県の助成事業あり)

(3)新型コロナウイルスワクチン接種事業

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
令和5年度	5	6	21	87	733	3,342	2,469

第 5 章 保健師等活動状況

1.保健師活動状況(保健衛生部門)

(6月、10月、2月分)

令和5年度

内 容			実働保健師(4名)	
			業務時間	
			総計	率
総 数			1,986	100.0
地区管理	小 計		103	5.2
	調 査 研 究		-	-
	地 区 管 理		103	5.2
保健福祉事業	小 計		1,318	66.4
	家 庭 訪 問		151	7.6
	健康相談	相談日設定	54	2.7
		それ以外	37	1.9
	健 康 診 査		432	21.8
	健 康 教 育		71	3.6
	機 能 訓 練		2	0.1
	地 区 組 織 活 動		5	0.3
	予 防 接 種		492	24.8
	そ の 他		74	3.7
コーディネート	小 計		173	8.7
	個別	会 議	16	0.8
		会 議 以 外	36	1.8
	地域	会 議	72	3.6
		会 議 以 外	49	2.5
教育研修	小 計		-	0.0
	研 修 企 画		-	-
	実 習 指 導		-	-
	人 材 育 成		-	-
業 務 管 理			36	1.8
業 務 連 絡 事 務			29	1.5
研 修 参 加			71	3.6
そ の 他			256	12.9

市町村保健師活動報告より

2.家庭訪問内容(保健衛生部門)

令和5年度

内 容		件 数	
		実人員	延人員
合 計		167	226
感 染 症		-	-
結 核		-	-
精 神 保 健		6	19
難 病		-	-
妊 婦		5	5
産 婦		4	4
新生児(未熟児を除く)		-	-
未 熟 児		2	2
乳児(新生児・未熟児を除く)		2	2
幼 児		-	-
長 期 療 養 児		-	-
健康増進	要 指 導 者 等	148	194
	閉じこもり予防	-	-
	介 護 家 族 者	-	-
	寝 た き り 者	-	-
	認 知 症 の 者	-	-
そ の 他		-	-
介 護 保 険		-	-
その他		-	-

市町村保健師訪問指導年報より

3.保健センター利用状況

令和5年度

事業		回数	人員(延)
母子保健	乳幼児健診 もぐもぐごっくん教室 もうすぐパパママ教室 他	121	533
成人健診関係	特定健診・特定保健指導 がん検診 他	15	911
健康教育	健康体操教室 知って得する健康教室 食生活改善	47	366
健康相談	母子保健 一般相談 心の健康相談 他	随時	14
その他		随時	2,215
計			4,039
開館日数 255日		1日平均利用人員 15.8人	

第 6 章 特定健康診査・特定保健指導

1. 特定健康診査・特定保健指導実施状況

(1) 特定健康診査・特定保健指導実施結果総括表

令和5年度

項目			男		女		計	
			人	%	人	%	人	%
特定健診	対象者		810		918		1,728	
	受診者		331	40.9	469	51.1	800	46.3
内臓脂肪症候群	該当者		129	39.0	67	14.3	196	24.5
	予備群者		55	16.6	27	5.8	82	10.3
服薬	高血圧症治療に係る薬剤服用者		166	50.2	155	33.0	321	40.1
	脂質異常症治療に係る薬剤服用者		94	28.4	152	32.4	246	30.8
	糖尿病治療に係る薬剤服用者		60	18.1	23	4.9	83	10.4
特定保健指導	積極的支援	対象者	8	2.4	4	0.9	12	1.5
		服薬による除外者	16		12		28	
		利用者	6	75.0	4	100.0	10	83.3
		終了者	2	25.0	3	75.0	5	41.7
	動機付け支援	対象者	41	12.4	27	5.8	68	8.5
		服薬による除外者	126		74		200	
		利用者	28	68.3	20	74.1	48	70.6
		終了者	24	58.5	19	70.4	43	63.2
	計	対象者	49		31		80	
		終了者	26	53.1	22	71.0	48	60.0

法定報告

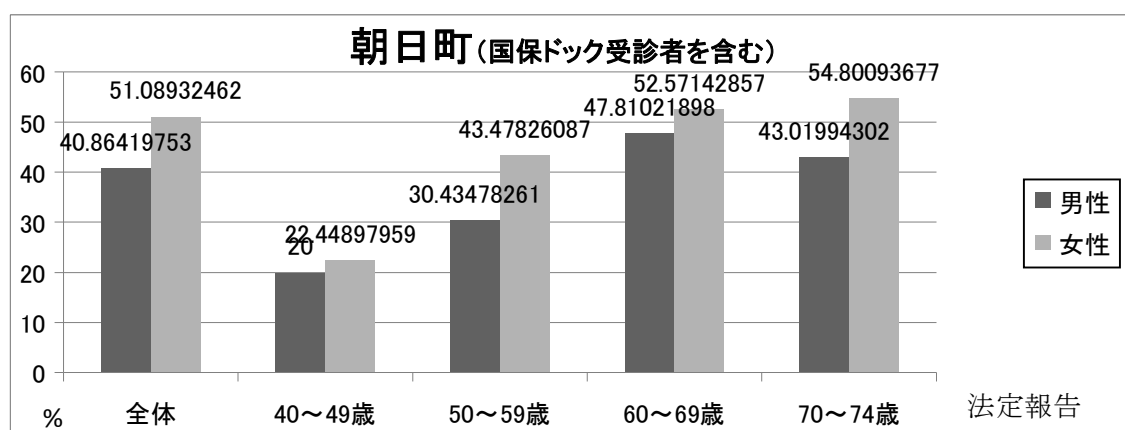
(2) 特定健康診査受診状況(性・年齢別)

令和5年度

年齢階級	男			女			計		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
40～49歳	70	14	20.0	49	11	22.4	119	25	21.0
50～59歳	115	35	30.4	92	40	43.5	207	75	36.2
60～69歳	274	131	47.8	350	184	52.6	624	315	50.5
70～74歳	351	151	43.0	427	234	54.8	778	385	49.5
計	810	331	40.9	918	469	51.1	1,728	800	46.3

法定報告

(3) 特定健康診査受診率(性・年齢別)



(4) 特定保健指導実施結果

令和5年度

		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	計
対象者数		1	3	4	4	9	25	34	80
内訳	積極的支援	1	–	3	2	6	–	–	12
	動機付け支援	–	3	1	2	3	25	34	68
終了者数		–	3	2	2	5	13	23	48
内訳	積極的支援	–	–	1	1	3	–	–	5
	動機付け支援	–	3	1	1	2	13	23	43
終了者の割合		0.0	100.0	50.0	50.0	55.6	52.0	67.6	60.0

法定報告

(5) 後期高齢者医療制度による健康診査(75歳以上)受診状況

令和5年度

対象者数	2,683
受診者数	875
受診率(%)	32.6

(6) 糖尿病性腎症重症化予防事業

令和5年度

受診勧奨対象者数(人)	12
受診勧奨による医療機関受診数	7
受診勧奨後の保健指導参加者数	1

保健指導対象者数(人)	5
保健指導参加者数	2
(再掲)保健指導終了者数	2
(再掲)保健指導予定者数	0
(再掲)保健指導中断者数	0